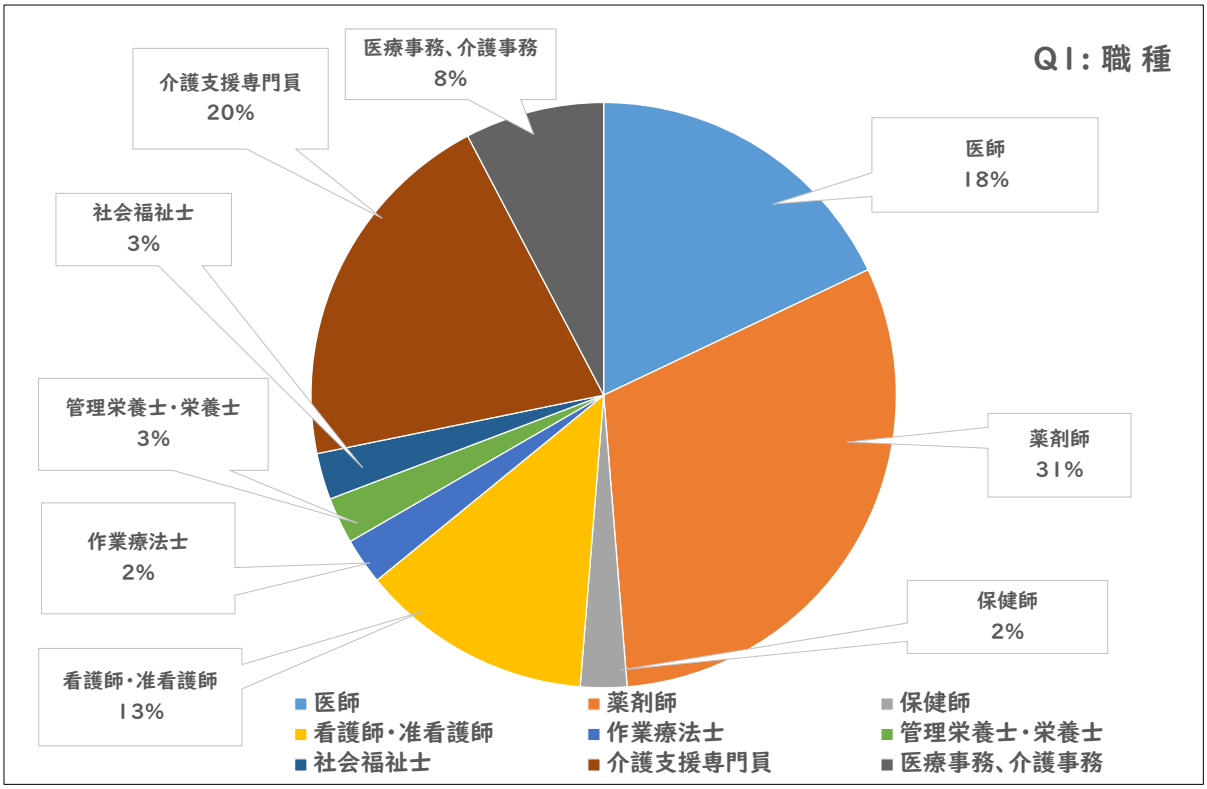
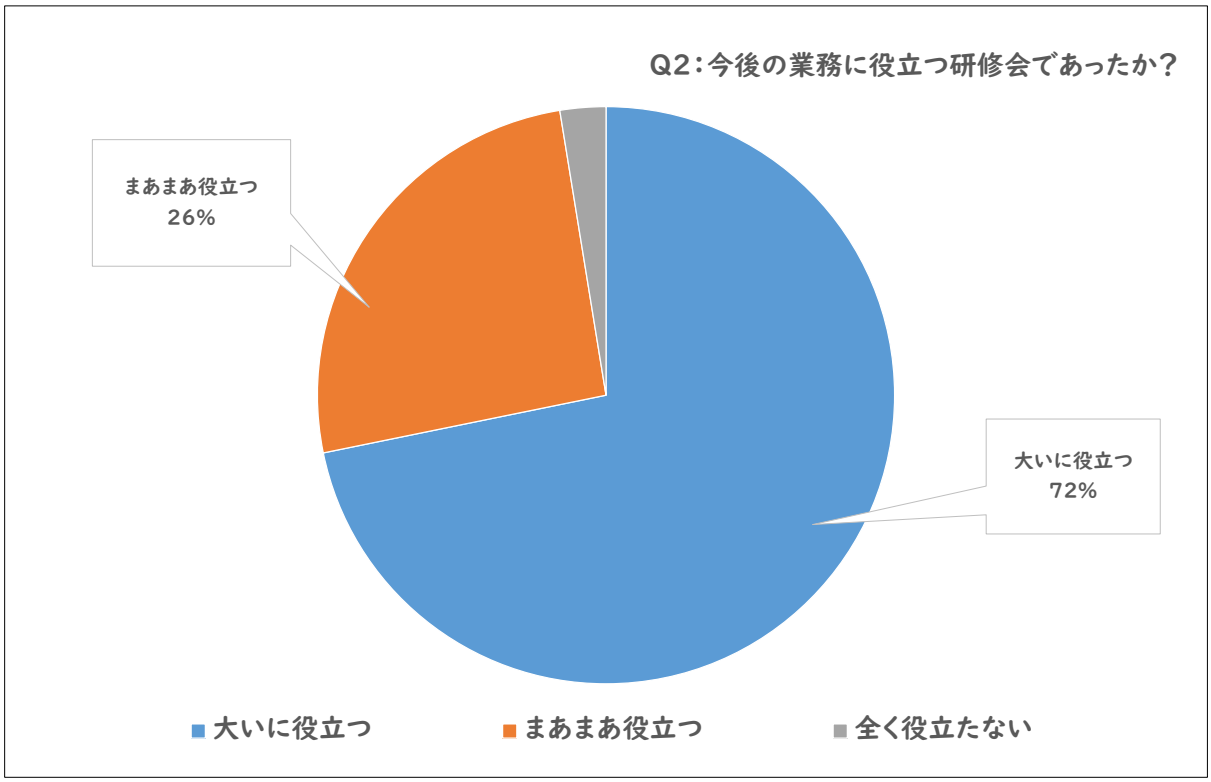
【令和8年度　感染症対策多職種連携研修会】
●開催日　令和8年10月28日（水）19時～20時30分
●テーマ　「感染症アップデート2026～COVID-19・インフルエンザの最新知見、
ワクチン最新情報、地域で実践する感染対策～」
●当日参加者　82人（Zoom58人　YouTube24人）　参加率77.3%（申し込み　106人）
●アンケート回答数　39人　回答率　47.5%





●参加者からの感想

・最新の考え方は薬を考える上でとても参考になりました。
・毎年、新しい感染症対策をアップデート出来るので貴重な公演ありがとうございました。
・明日からも患者さんへ感染対策の呼びかけをしていこうと思いました。
・エビデンスをとてもわかりやすく講演頂き勉強になりました。
・先生のお話がとてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
・わかりやすいご講演ありがとうございました。
・コロナだけではなく、インフルエンザや麻疹など他の感染症についての新しい情報を知ることができて、勉強になった。
・コロナワクチンや高齢者に関連しての話がわかりやすく、勉強になりました。ありがとうございました。
・改めて換気やマスク着用の重要性が理解できた。住民への周知を定期的に行っていきたい。
・コロナの治療に関してフルボキサミン等の様々な薬剤が研究されていることが興味深かった。
・感染症に対するワクチンの重要性をあらためて知ることができた。
　個人として、重要化予防のため、ワクチンをうつようにします。
・感染症への知識がアップデートされて良かった。
・薬局の方でもコロナワクチン接種推奨の話をしていきたいと思います。
・自力では調べきれない新しい情報を多岐にわたってご紹介頂きました。ありがたい事です。
・コロナやインフルエンザの最新の内容で勉強になりました。
　コロナ以外では換気が忘れられがちの雰囲気があります。また、寒くなってきたので窓も締め切りがちになります。
　マスク、手指衛生、換気に注意していきたいと思います。
・covid対策として有効だったものとそうではなかったもの、それぞれのエビデンスが理解できた。
・分かりやすい内容で良かった。
・新しいエビデンスも提供いただきアップデート出来ました。
・手洗いやうがい、ワクチン接種など予防も大事だと改めて感じました。
　自分にできることとして継続したいと思いました。ありがとうございました。
・多彩な内容で勉強になりました。
・ワクチン最新情報について、興味深く聞かせていただきました。
・大変勉強になりました。ありがとうございました。
・最新の知見を大変分かりやすくご講話いただき、充実した研修でした。
・やはり、手洗い、換気、マスクの必要性を感じました。これからの季節更に気をつけなければいけないと思い、
　またコロナ禍の時の事をもう一度思い出して、感染対策をきちんとしたいと思いました。
・コロナ、インフル、その他感染症の最新情報を分かりやすく学べ、大変参考になりました。
・わかりやすく、ためになる研修でした。
・普段聞けないお話が聞けて、とても有意義でした。
・個人としても、医療福祉従事者としても、今後に役立つ知識や情報で良かった。
・最新の情報をお話し聞くことができとても参考になりました。
・LongCovidに関する話が興味深かった。
・たくさんの新たな知見をありがとうございました。
・分かりやすく話して頂いて、とても理解しやすかったです。
・身近な内容でわかりやすく教えていただきました。
・ワクチンやマスクの着用が疎かになってしまっていたこともあるため、この研修を受講し再度、
　意識しておこなっていくべきと思いました。
・医療者に向けての内容のため、ケアマネとしての具体的な対応などが教えて頂きたいと思いました。

●今後の研修会開催に関するご意見

・感染症の基本　分類と疾患の説明。
・看取り研修。
・薬について。薬の効果、副作用、飲み合わせなどの注意点など。特に処方が多いものから、
　市販の気軽に使っているけど、トリセツはなかなか読まなくて危ない物など。
　薬剤師さんからの注意点やちょっとした副作用の気づきポイントなど
・認知症予防の食事や運動。
・古くからあるも、未だ克服できない、結核、マラリア、エイスなどの現状も皆さんで共有できたらと思っています。
・災害時感染症対策。
・地域包括ケアシステムとして、伊達地区でフォーミュラリとしてできるICTを教えて欲しい。
・訪問診療、看護の実際など。
・CML。

●その他、ご要望・ご意見

・後藤先生から今後も感染症の最新知見などのお話があると、地域全体で感染症対策への意識が高まることに繋がると
　思います。
・準備、お疲れ様でした。
・ありがとうございました。

●参加者からの主な学び

① 最新の知見・エビデンスの習得ができた。
新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザや麻疹などの最新動向、各種薬剤（フルボキサミン等）の研究状況、Long COVIDに関する話題まで、多岐にわたる最新の知見やエビデンスを分かりやすく学べたという声が多く寄せられた。
最新情報をアップデートする非常に貴重な機会に繋がった。

② 感染対策の重要性について再認識することができた。
手洗い・手指衛生、マスクの着用、換気の徹底といった基本的な感染予防策の有効性や根拠を改めて理解する機会となった。コロナ禍から時間が経過し、意識の希薄化や換気の怠りがちだった現状を振り返り、これからの季節に向けて感染対策を徹底する重要性を再認識することができた。

③ 現場での実践に繋げていける内容であった。
学びを自分自身の予防行動として継続するだけでなく、医療・介護従事者や調剤薬局の現場から患者・地域住民へ感染対策やワクチン接種の必要性を積極的に呼びかけていく等、実践に繋げていく前向きな意欲が寄せられた。

●伊達地方在宅医療・介護連携支援センター　総括と今後の展望（まとめ）

•研修成果として、受講者が個人では収集が難しい多岐にわたる専門的知見やエビデンスを分かりやすく習得できたことや、慣れが生じつつあった基本的な感染予防策（換気・手指衛生・マスク着用等）の重要性を再認識できたという声が多数寄せられた。さらに、単なる知識の習得にとどまらず、「明日から患者や地域住民へ積極的に呼びかけていきたい」「薬局や現場での啓発に繋げたい」といった既に実践へ向けた前向きな意見もみられ、参加した医療・介護従事者にとって実りある研修会となった。
•感染症対策やワクチンに関する最新の知見は変化が伴うため、今後も定期的な学習・情報共有の場を継続して企画検討が必要である。